

波
米
後

光
が
消
え
た
後

彼
岸

「私たち」について 關於「我們」



(網上圖片)

盧循

東晉末期(5世紀初期)、五斗米道が挙兵したが、首領の孫恩の敗死後、盧循に総大将として擁立され、残党を率いて朝廷への抵抗を続けました。9年間の苦戦の後、敗れて海に投げ込まれた。「孫恩盧循の乱」と呼ばれるようになります。

東晉末年五斗米道民變起事，史稱「孫恩盧循之亂」。盧循在孫恩死後被推為主將，接棒率領餘眾繼續反抗朝廷，苦戰九年後投水自殺。

盧亭

香港に人魚が生息していました。《広東新語》、《天下郡国利病書》、《太平広記》など古書にさまざまに記載されています。但し、いままで人魚に対する印象と違って、香港の人魚は、魚の頭と人間の体を持ち、雪のような白い皮膚で黄色の髪と目で言葉できなく、くすくす笑うしかありません。ランタオ島で出没すると伝わっています。

香港有人魚——不同古籍對它都有不同記載，包括《廣東新語》、《天下郡國利病書》、《太平廣記》等。有別於我們對人魚的印象，他們魚頭人身，有雪白肌膚、黃髮黃眼，沒有言語能力，只能傻笑。傳聞於大嶼山出沒，是蜃族人祖先。



香港海事博物館で展示されている盧亭像
盧亭塑像於香港海事博物館展出
——姜志名(香港)1998
(網上圖片)

鄭一嫂

香港には海賊がいました——鄭一嫂は元々は娼妓で水上人(蜃族)だったが、海賊「赤旗組」の頭領の鄭一に妻として誘拐され、その後華南海賊連盟を創立しました。鄭一の死後、養子の張保仔と再婚して連盟の海賊を率い、「法令」の公表で部下を統制し、「通行証」制度を確立します。最盛期には600隻以上の船と延べ7万人以上の兵力を所有していました。

香港有海盜——鄭一嫂本是妓女，水上人(蜃家)，被海盜「紅旗幫」頭目鄭一擄走為妻，成立華南海盜聯盟。在鄭一死後，她改嫁養子張保仔，統領聯盟、頒布「法令」管治手下，建立「通行證」制度；高峰時擁有船艦2,000艘、部卒7萬。詳情可參閱《靖海氛記》。



「大嶼山圍剿海盜」
赤い服の女が鄭一嫂と伝わっている
紅衣女人相傳是鄭一嫂
《靖海全圖》
(Google藝術と文化
香港海事博物館 スクリーンショット)

創作者より

この作品は海洋から始まり、伝説と歴史の視点から陸地を振り返るものです。一連の現地調査と古籍の研究を経て、その歴史が決して私たちから遠く離れたものではないが、私たちはそれに注意を払っていないだけであることがわかりました。港の町に居るのに、海と隔絶されており、「海の景色」は贅沢の代名詞となっています。激流の時代の中で、本来の自分の純粋な原点に戻って、自分のいる場所をもう一つの姿勢で理解し、そこからこの世界に繋がることとなります。それは、この作品に教えてもらったものです。

体が海とともに消えていきますが、いくつかの記憶はまだ昔から残っています。それは時間、地域、現実を超えて、海を渡る人々の永遠となります。向こう側に到着するまではどうなるかわかりません。この旅の中から私たちが自分自身の成長と変化を見つけるよう、願っています。

*全文及び詳しい説明と研究成果は、サイトにご参照ください。



創作／演出 梁海頤
劇場構成／演出 尹珮彦
撮影監督 岑軍諺
書道設計：李慧盈

日本語翻訳：阮偉倫(脚本及び校正)、川島尚子
提携先：糸島国際芸術祭 翼宿(糸島) 不貧窮芸術祭(高雄)
感謝：香港芸術發展局

香港芸術發展局全力で芸術表現の自由をサポートします。当プロジェクトの内容が当局の意見を反映しません。

創作者の話

今次的創作從海洋出發，以傳説、歷史的角度回看陸地。經過一系列的實地考察和典籍翻查後，我發現這些歷史一直沒有離我們很遠，只是我們沒有去注視。明明我們身在港口，卻與周遭的海灣割裂，「海景」成為奢侈的代名詞。在大時代的洪流下返璞歸真，用另一種態度去認識身處的地方，再從這個地方連結世界，是這個作品教會我的。

身體隨海洋飄遠去，但有些記憶昔在、今在。它可以超越時間、超越地方、超越現實，成為越洋者的永遠。在到達彼岸之前，我們都不知道它會是怎樣的模樣。但願我們在這趟旅程中，都找到自己的成長、自己的轉化。

* 全文及詳細研究分享可參閱網站



創作及演出：梁海頤
劇場構作及演出：尹珮彦
影像導演：岑軍諺
書法設計：李慧盈

日語翻譯：阮偉倫(劇本與校對)、川島尚子
合作伙伴：糸島國際藝術節(日本) 翼宿(日本) 不貧窮藝術節(高雄)

鳴謝：香港藝術發展局



香港藝術發展局全力支持藝術表達自由，本計劃內容並不反映本局意見。

伝説によれば、文明の跡が香港島よりもランタオ島の方が早く発見された。

「三十六島を持つ大奚山（ランタオ島の別称）には、たくさんの蜚蠻族の人々が生息していた。晋（4～5世紀）の時代の海賊の盧循の末裔とも言われおり、今は盧亭、または盧餘とも呼ばれている。」

毎年秋に、同族の人々は先祖が人間に変化するのを記念する式典を海岸沿いで執り行われる。

儀式をで覧の皆さま。赤い布が開かれた時、お手元にあるパンフレットを開き、こちらに書かれた文をあなたの母国語で、心のなかで読んでください。

東晋末期（5世紀初期）、各地で内乱が起これり、孫恩が拳兵したが、敗北後、妹婿の盧循に引継がれ、3年間の反乱を続けた結果、敗れて海に投げ込まれた。

腐つた人魚の名前は盧亭（ルー・ティン）と呼ばれ、海の島々で生息している、その鳴き声が赤ちゃんみたいで、雄も雌も人間のような。

魚人たちは代々獲物で鶏の血を交換してきた。陸も海も活動でき、また交合する時も女性と何う変わりなく、誰も傷つけない。

海の近くには魚人がたくさんいるので、人々は池や沼で飼っている。

結婚する魚人は偶にあり、その子孫が蜚蠻族となり漁業で生計を立てている。明と清の時代には海賊が栄えるため、魚人も時に海賊になる。

一人の蜚蠻族の娼妓が捕まれ、のち海賊の妻になった。彼女が一艘（イ一サオ）と呼ばれ、一人の下、千人の上の地位になり、かつて大奚山に駐屯していた。

その後、夫が亡くなり、一艘が事業を引き継ぐ後、600隻の海賊船が彼女とともに去っていった。

傳説、大嶼山比香港島更早發現文明。古語有云：

「大奚山，三十六嶼，多居蜚蠻種類，或傳為晉海盜盧循遺種，今名盧亭，亦曰盧餘。」

毎年秋天，族人皆會在沿海進行儀式，記念先祖化身成人之歷程。前來觀看儀式的的朋友，可以隨紅布卷開，翻閱手上紙本，在心底以母語讀出相應句子：

東晋末年，民變四起，孫恩起兵；

盧循接軍，苦戰三年，兵敗投海。

腐身人魚，名曰盧亭。島嶼徘徊，以海為家，啼泣如嬰，雌雄如人。

魚人世代，以漁獲換雞血。水陸相通，交合之際，與女子無異，亦不傷人。

因臨海魚眾，人養之於池沼。

魚人偶有通婚，其後代為蜚蠻族，捕魚為生。明清海盜倡盛，漁人時而為盜。

一蜚妓被俘。及為海盜妻。賜名一艘，一男之下千男之上，曾屯駐大奚山。

至夫死，妻承其業，六百海盜船隨她遠去。